

島根県肝炎対策推進基本指針の概要

現況

- 我が国の肝炎ウイルスの持続感染者
B型が110万～120万人、C型が90万～130万人
- 肝がん発生原因の約70%が肝炎ウイルス感染
- 令和2年肝がん死亡率（粗死亡率・人口10万人対）
島根県 全国第1位（75歳未満年齢調整死亡率は、
全国平均よりも高い）



肝炎を取りまく重要な課題

感染したことの自覚のない感染者や精密検査・治療を行わない陽性者が多数いるため

「早期発見・早期治療」が重要な課題

◆指針策定の趣旨

肝炎ウイルス検査から精密検査を受診し、さらに治療へとつなげる取組を推進する

指針の柱

- 肝炎ウイルス検査等の推進
- 肝炎医療の推進
- 正しい知識の普及
- 情報提供・相談支援の充実

予防のための施策

- 県民、特に働く人々（職域）での啓発
- 肝炎ウイルス検査実施医療機関での肝炎予防の啓発
- 感染リスクの高い県民に対し、B型肝炎ワクチン接種を推奨

検査体制の充実

- 肝炎ウイルス検査の周知徹底
- 職域で検査できる体制づくり
- 肝炎医療コーディネーターによる受検及び受診勧奨
- 拠点病院による肝炎ウイルス検査等に関する研修の実施

医療提供体制の確保

- 精密検査の受診勧奨
- 肝炎医療コーディネーターの育成及び活躍の推進
- 拠点病院による治療等に関する研修の実施
- 医療費助成制度・精密検査助成制度の普及啓発

普及啓発・人権尊重

- 相談窓口の周知
- 肝臓週間での集中した啓発活動
- 若年層への啓発

その他の施策

- 肝疾患相談センター・保健所での相談窓口の周知
- 肝臓機能障害に関する身体障害者手帳の普及啓発
- 肝炎に関する調査・分析